

【様式 3】

③食育の日の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府
取組市町村名 取組団体・企業名	宇治市 健康生きがい課・危機管理室 京都文教短期大学・株式会社 典座
取組の名称	備蓄食品を使った『防災ランチ』の販売
実施時期	令和元年9月19日（木）
取組内容	「備蓄はしているけど、いざ災害が起きた時どうやって食べたらいいの？」 「賞味期限が切れそうな備蓄食品をおいしく食べる方法は？」 といった市民の疑問を解決するレシピを、京都文教短期大学食物栄養学科の学生と連携し考案しました。 9月の防災月間の食育の日に、市役所食堂にてその中の1品を販売しました。 <成果> 食堂前には備蓄食品に関するパネル展示や、レシピの配布を行いました。市民や職員が普段から利用する食堂で実施したので、まだまだ防災の意識が低い方にも啓発できたのではないかと考えます。

【様式 3】

③食育の日の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府
取組市町村名 取組団体・企業名	精華町
取組の名称	「食」に関する図書の紹介
実施時期	毎月 19 日
取組内容	毎月 19 日「食育の日」に、図書館において「食」に関する本を紹介しています。 来館者や職員など、より多くの住民に「食育の日」の周知と「食への関心」を高めるために、図書館に配架している本の中から「食」に関する本や精華町食生活改善推進員が作成したレシピをまとめた、「あすなろお喜楽クッキング」などを紹介し、貸出を実施しています。    <成果> 話題作品の紹介スペースで「食」に関する本を紹介することで、人気の料理本だけでなく、その他の「食」に関する本も貸し出され、多くの住民に、「食」に関する情報が少しずつ広がっていると考えられます。

【様式 3】

③食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府京田辺市
取組市町村名 取組団体・企業名	京田辺市
取組の名称	一休さん派遣事業
実施時期	5月～11月
取組内容	<対象者・人数> 京田辺市内の保育所や幼稚園に通う乳幼児、保護者 乳幼児 計1,656名 保護者 計100名 <場所> 市内全保育所・幼稚園 <取組> 毎月19日の「食育の日」の認知度を高めるため「19日」と一休さん（19さん）をかけて、京田辺市観光大使である一休さんと一緒に京田辺市内の保育所や幼稚園を訪問しました。「食育の日」のPRやスライド・紙芝居を用いながら赤・黄・緑の食べ物を偏りなく食べると元気になることや朝ごはんの大切さを伝えました。お弁当参観にも参加し子どもたちがお弁当を食べている姿を見学しました。保護者にはアンケートとレシピを配布しました。  <成果> 観光大使の一休さんと一緒に食べ物について学べたことで、食事について興味を持つ様子が見られました。アンケートやレシピを配布することで、保護者に対する啓発につながりました。

【様式 3】

③食育の日の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府
取組市町村名 取組団体・企業名	宇治市立黄檗中学校
取組の名称	だしで味わう UMAMI ～日本の食文化・行事食とともに～
実施時期	令和元年9月19日
取組内容	実施学年等 9 年生(中学3 年生) <食育の観点より> だしを通して、和食を代表とした日本の食文化や行事食を学ぶ。 <対象> 9 年生4 クラス(144 名) 9 月19 日実施 <内容> 「野菜ソムリエコミュニティ京都」所属の鳥越よし子様と山岡明日香様をメイン講師とし、4 名の野菜ソムリエの方に来ていただき、「だしで味わうUMAMI ～日本の食文化・行事食とともに～」をテーマに和食の特徴を学ぶと共に“だし”のブレンドや飲み比べを行いました。 昆布だし、かつおだし、野菜のだしを中心に特徴を学び、昆布だしかぼちゃスープを作りました。だし本来が持つ旨みを感じる事が初めての生徒も多く、驚きや感嘆の声が聞かれました。 家で料理に挑戦したいという感想や、和食を見直したいという感想などがあり、多くの刺激を受けたようです。 